

式 辞

郷原の地に吹き渡る風にも、春の躍動を感じられる、今日のよき日に、多くのご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席を賜り、第七十七回呉市立郷原中学校卒業証書授与式を、挙行できますことに、高壇からではございませんが、心から感謝申し上げます。

今日まで卒業生を慈しみ、支えてこられました保護者の皆様、ご家族の皆様には、感慨もひとしおかと拝察いたします。

中学生は、思春期という多感な時期ではありますが、今日の立派な姿は、いつも寄り添い、温かいまなざしで見守り続けていただいたおかげだと思えます。お子様のご卒業を、心よりお祝い申し上げますとともに、これまで、本校の教育活動に、ご理解、ご協力を賜りましたことに、厚くお礼申し上げます。

この学び舎を巣立ちゆく卒業生五十七名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

ただ今、一人一人に手渡した卒業証書は、中学校の全課程を修了したことで、そして九年間の義務教育を修了した証です。それぞれの道へ、一步を踏み出そうとしている皆さんは、「自律」を校訓に掲げる本校で、学業、部活動、学校行事、生徒会活動などに真剣に取り組み、今日の日を迎えました。

卒業証書を受け取り、三年間のさまざまな出来事が、今、脳裏を駆け巡っていることと思います。

あの時、楽しかったこと、くやしかったこと、その全てがかけがえのない中学校時代の思い出であり、生涯の財産です。

振り返ると、感染症対策のため、様々な行事が制限される状況の中でも、

常に前向きな気持ちで、仲間とともに、切磋琢磨してきました。これまで当たり前前にできていたことの価値や大切さにも、気付くことができました。

今年、さすが郷原中学校三年生、と心打たれる場面が数多くありました。日常の最高学年としての姿は、学級を超え、先生とともにチームとして団結し、何事にも、一生懸命向き合い、後輩たちの先頭に立ち、学校生活を力強くリードしてくれました。

皆さんが大切に築いてきた郷原中学校の歴史のバトンは、後輩たちに確実に受け継がれ、引き継がれることでしょう。

卒業、それは、人生の大切な節目の一つです。郷原中学校の伝統を守り、そして新たなページを記し、中学校を旅立とうとしている皆さん、その旅立ちに二つのメッセージを贈ります。

一つ目は、「人との出会い」を大切にしたいということです。

これから皆さんは、世界が広がり、いろいろな人との出会いが待っています。自分とは異なる境遇の人との出会いは、皆さん自身の人生に新しい価値観や考え方をもたらしてくれます。人と人との絆を大切にし、支え合い、助け合って、輪を広げていってください。

自分の良さに気づき、一人一人の個性を大切にしながら、その上で、寄り添う心、認め合う心を持つことが大切です。

これまでの人とのつながり、これからの出会いを大切にしてください。

二つ目は、夢を持ち、挑戦し続けることです。

「夢見ることができれば、それは実現できる」

これは、皆さんもよく知っているミッキーマウスの生みの親、ウォルト・ディズニーの言葉です。彼の創ったウォルト・ディズニー社は、昨年、創業

一〇〇周年を迎えました。

この言葉は、夢を抱くことの力強さと、夢を現実に変える可能性を信じることを伝えてくれます。

彼は、少年時代から絵を描くことが大好きで、その絵を生かした仕事に就きたいと考えていました。いつしか、アニメーション創りに夢中になります。そして、幾度もの挫折を経験しながら、自分の創造力を信じて突き進んできました。世界中の人々に夢と感動の体験を提供し続け、その功績は、今も映画、テーマパークとジャンルを超えて、進化し続けています。

皆さんも、夢を持ち、挑戦し続け、まだ見ぬ可能性を信じて、是非、その夢を実現させてください。

スポーツ・芸術・自分が極めたいことなど、夢は一人一人違って、挑戦し続ける姿は同じです。

皆さんは、一人ではありません。これまでも仲間がいたから、乗り越えてきたことがたくさんあります。これからも、新たな仲間とともに「夢」を語り合い、素晴らし環境の中で、諦めないで、挑戦し続けてください。

終わりにりましたが、ご来賓の皆様、常に生徒を温かく見守っていただき、本校教育に多大なご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

郷原中学校卒業生の限りない前途を祝し、本校の校訓である「自律」を胸に、卒業生の一層の成長を心から祈念し、式辞といたします。

令和六年三月七日

呉市立郷原中学校長 宮内 雅美